

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2015-01-01

No. 61



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: IECRE 世界デビュー 再生可能エネルギーの試験及び認証	3
IEC: 新規格リスト	5
ISO: 新規格リスト	8
国際テーマ: UNECE: 規制 No. 10 (電磁両立性) 第 05 シリーズ (Rev. 5) 発行: 内容解説 9	
国際テーマ: UNECE: ITS/自動運転非公式作業班 IG-AD の委託事項を提案	15
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	16
USA: FCC: KDB: FCC 規則 § 2.933 に基づく ID 変更の申請手順はどのようなものか? ...	18
USA: FCC: KDB: レベルブロープレダの測定手順は?	19
USA: DOE: エナジースター: ディスプレイ基準 Ver7.0: 適合基準第 1 草案 等	19
USA: DOE: 省エネ社会に向けた政府の取り組みを紹介: 車、エネルギー製品	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	23
カナダ: 官報通知: RSS-251- 車輛レーダ等用 46 GHz 及び 76 GHz 電界妨害センサー ..	24
EU: CENELEC: R&TTE 指令の誤記修正版整合規格リスト 発行	25
EU: R&TTE CA: R&TTE 指令規制傘下製品に対する要求事項についてのガイダンス	25
EU: R&TTE 指令: 機器クラス 1, 2 のサブクラス最新リスト公表	26
EU: EMC 市場監視キャンペーン報告書 ソーラパネルインバータ(2014 年実施)	27
EU: 換気ユニットの欧州指令関連規制発行	28
EU: CENELEC: 新規格リスト	29
EU: ETSI: 新規格リスト	33
オーストラリア: 供給 ポイントでのエンドユーザ機器のための EME 技術要求事項	33
ニュージーランド: TV ホワイトスペースデバイス新規則	34
中国: CQC: 太陽光発電システム用グリッドインバーターの認証規則関連通知	35
中国: CNCA: 強制性製品認証目録と 2014 年 HS コード対応表	35
中国: 新規格リスト	36
台湾: 「低圧三相誘導電動機商品の関連試験規定による試験の実施」を修正	39
台湾: 新規格リスト	39
韓国: 電磁波障害防止基準と電磁波保護基準の改正告示の通知	40
韓国: 高出力・漏洩電磁波の安全性評価基準及び方法等に関する告示	40
韓国: 電気用品安全管理運用要領改正のお知らせ	40
韓国: エネルギー効率ラベル規制についてご存知ですか	41
総務省: CISPR 11: 工業、科学等 装置からの妨害波の許容値及び測定法の見直し	42
総務省: 情報通信審議会 電波利用環境委員会配付資料: ワイヤレス電力伝送システム ..	43
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の一部を改正	43
厚生労働省: 医薬品医療機器等法が施行: 法改正関連の通知	44
VCCI: 国際フォーラム、2015 年 3 月 6 日 (金) に国連大学で開催	44
コスモス・コーポレーションからのご案内: 動電式振動試験装置導入のお知らせ	17
ちょっといっぽく: 小クイズコーナー IEC 60950-1 または IEC 60065 での承認部品	24
社長の独り言	45

国際テーマ: UNECE: 規制 No. 10 (電磁両立性) 第 05 シリーズ (Rev. 5)

発行: 内容解説

REESS 再充電可能なエネルギー貯蔵システム

規制 Regulation No. 10 の改定 Revision 5 (補遺 Addendum 9) 発行さる、発効日: 9 October 2014

- 構成形態(コンフィギュレーション) "パワーグリッドへ結合される REESS 充電モード" に対して、規制 No. 10 の 04 シリーズ改定は、車両全体に対する型式認証だけしかカバーしていなかった。本 05 シリーズ改定では、型式認証を、個別電気部品 (ESA) へ、拡張する。ESA の型式試験/認証が可能になった
- パラグラフ 7. 内に ESA に対する仕様を追加: ESA に関して、パラグラフ 7.10.からパラグラフ 7.19.までが追加された
- 前記 ESA に対する新仕様に対応する試験方法を規定する新規付属文書を追加。又従来からの試験方法にも大幅な変更有
- 05 シリーズ修正の発効日後 36 カ月(9 October 2017)からは、承認を求める車両型式、部品、又は、個別技術ユニットには、05 シリーズ修正により、型式認証を授与すること

USA: FCC: KDB: FCC 規則 § 2.933 に基づく ID 変更の申請手順はどのようなものか?

- FCC 規則 2.933 項では、機器の FCC ID に変更がある場合は全ての場合機器認証の新規申請を義務付けている。FCC 規則 § 2.933 に基づく ID 変更の申請手順はどのようなものを説明

USA: FCC: KDB: レベルプローブブレードの測定手順は?

- 添付、890966 D01 レベルプローブブレード v01 で 15.256 項に基づいて作動するデバイスの測定方法についてのガイダンスを提供

USA: DOE: エナジースター: ディスプレイ基準 Ver7.0: 適合基準第 1 草案等

ディスプレイ基準 Ver7.0: 適合基準第 1 草案、試験方法第 2 草案について

- 2014 年 11 月 18 日、EPA はディスプレイ基準関係者に向けて、バージョン 7.0 適合基準第 1 草案及び試験方法第 2 草案を配信した

EU: CENELEC: R&TTE 指令の誤記修正版整合規格リスト 発行

EU: R&TTE 指令: 機器クラス 1, 2 のサブクラス最新リスト公表

- R &TTE 指令: 委員会決定により、二種類のクラス (機器クラス 1, 2) が定められている。今回、機器クラス 1, 2 のサブクラスについて最新リスト公表

総務省: CISPR 11: 工業、科学等 装置からの妨害波の許容値及び測定法の見直し

- 電波法施行規則の一部を改正する省令案等に係る意見募集の結果及び電波監理審議会からの答申 - 情報通信審議会からの一部答申を踏まえた省令案等の一部改正 -
- CISPR 11 改正に対応、工業、科学及び医療用装置からの妨害波の許容値及び測定法の見直しに係る省令及び告示の改正

経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の一部を改正

- 国際規格 (IEC 規格) に整合した JIS 等の規格・基準を取り入れることで、より一層の国際整合化を図るよう現行規格を改正する。採用済の JIS を、より新しい版の IEC 規格に整合した JIS に置き換えるもの 4 規格等

社長の独り言

2015 年 1 月 1 日
濱口 張馬

新年明けましておめでとうございます。
皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

年一度開催されている IEC 年次総会が、昨年は東京で開催され、国内外の製品安全関係者が 1500 名以上も集まる注目の高い年次総会となりました。コスモスも協賛企業としてサポートさせていただきましたが、今後の製品安全のさらなる発展のサポートを微力ながら続けていきます。

2014 年を振り返ると、国外への工場移転や海外工場への生産委託等に伴い、製品安全認証取得に係る業務も現地工場にて対応する流れから、業種によってはやはり安全に係る部分は国内で管理する（あるいはしたい）との動きが見られました。また、無線機能を搭載した製品の規格取得の問い合わせも、これまでの電気安全・EMC 分野以上に多くなっており、無線機能を搭載した製品の拡大は今後も予想されます。

新年度のコスモスは、従来のサービス内容を見直し、更なる質の向上を図るとともに、需要が拡大している、無線機能を搭載した各種製品の国内・海外展開の支援に力を入れていきます。また薬事法が昨年 11 月に医薬品医療機器等法に改正され、高度管理医療機器（クラス III）の一部も、第三者認証機関が取り扱う範囲に拡大されております。コスモスも登録範囲拡大に向け、審査等体制の強化を図っております。

そして最後に、電気用品安全法の登録検査機関に再登録されるべく、昨年末に経済産業省に届出書類を提出いたしました。本年度中に何らかの結論が出るものと推測しておりますが、1 日でも早く登録検査機関として復活できるよう、社員一同身を引き締めて邁進していく所存です。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com

Tel 0598-30-5225

Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購読案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2015-01-01 (No. 61)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口張馬

編集人: 倉品光雄

iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2015 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。